

平成30年度 指定管理施設運営状況中間評価表

1. 施設の概要

施設の名称	むつ市早掛レイクサイドヒルキャンプ場		
指定管理者	団体名	むつ商工会議所	
	代表者	会頭 其 田 桂	
	所在地	むつ市田名部字小平館の内尻釜45番18号	
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日（5年間）		
指定管理業務の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が自然とふれあい、心身の健康増進を図るため、市民参加型のイベントを実施し、地域住民が交流しながら自然と親しむ場を提供する事業。 ・周遊型観光の促進を図るため、観光施設の案内、観光情報の発信、地場製品のPRを積極的に実施し観光客のリピーター化の促進を図る事業。 ・常に清潔・安全・快適な施設を提供するための維持管理業務。 		

2. 収支の状況 ※消費税及び地方消費税を含んだ額を計上すること。自主事業分は含まないこと。

※原則として他会計からの繰入金及び他会計への繰出金は含まないこと。

※人件費には、経常の指定管理業務にかかる人件費のみを記載し、臨時的な日雇い雇用などの賃金を含まないこと。

単位：千円

区 分	年間計画額 ①	上半期実績額 ②	増 減 (②-①)
収入合計 (A)	10,098	9,975	△123
うち利用料金額	2,750	3,060	310
うち指定管理料	7,298	6,915	△383
支出合計 (B)	10,098	10,495	397
うち人件費	2,170	2,475	305
収支差 (A-B)	0	△520	△520
市への納入金			
計画額と比較した実績額の増減理由			

3. 施設利用の状況

単位：人

	区 分	年間計画 ①	上半期実績 ②	増 減 (②-①)
利用者数	有料利用者数	4,520	4,778	258
	無料利用者数	500	635	135
利用者の声とその対応状況 ※利用者アンケートの実施（有・無） <ul style="list-style-type: none"> ・カメムシが多く困った：オープン前に駆除しているが春先と秋には多く発生するため、「カメムシ取り」と「ガムテープ」を常置し対応してもらっている。 ・ケビンハウスの清掃、キャンプサイトや場内各施設の整備・管理状況について、来場者の多くから頂く感謝とお褒めの言葉を糧に、管理業務と清掃業務担当者と共に徹底した運営管理を行っています。 				

4. 自主事業の実施状況

単位：人、千円

事業名	利用者数	収 入	支 出
オープンイベント（無料開放）	177人	0	0
BBQ祭り	199人	259	451
利用促進キャンペーン	5件	0	7

5. 個別項目評価 ※指定管理者と市の所管課が評価（A：優良 B：適正 C：要改善）

評価項目	自己評価	市の評価
(1) 施設設置目的に添ったサービス向上に関する取組み状況		
① 開館時間、休館日等を守り、施設利便性の確保に努めたか。	A	A
② 施設の使用許可、使用料減免等が適正、円滑に行われたか。	B	A
③ 利用者に対する接客マナー等、職員の勤務態度は適正だったか。	B	A
④ 利用者の意見を聴取し、それらを反映する取組みを行ったか。	B	B
(2) 利用促進に関する取組み状況		
① 施設利便性を高める努力を行い、効果が得られたか。	A	B
② 潜在的な利用者等に営業広報活動を行い、利用アピールをしたか。	B	B
③ 自主事業を企画・実施し、効果が得られたか。	A	B
(3) 効率性の向上に関する取組み状況		
① 施設管理経費を低減するための取組みを行い、効果があったか。	A	A
② 収入増を図るための取組みを行い、効果があったか。	B	B
③ 職員の資質・能力向上を図る取組みがされたか。	B	B
(4) 施設の適正な維持・管理に関する取組み状況		
① 施設の維持管理、運営に当たる人員配置は適正であったか。	B	B
② 設備・備品の維持管理及び修繕が適切に行われたか。	A	A
③ 労働関係法令等を遵守し、適正な管理を行ったか。	B	B
④ 利用料金の収受及び施設管理経費の支出は適正であったか。	B	B
(5) 平等利用、安全対策、危機管理等に関する取組み状況		
① 利用者が平等に利用できるよう施設利用情報提供に配慮したか。	B	B
② 日常の事故防止等の安全対策は適切であったか。	B	B
③ 防犯、防災対策等の危機管理体制は適切であったか。	B	B
④ 利用者の個人情報保護は徹底されていたか。	B	B

6. 指定管理者総合評価 ㊦自己評価をCとした項目についての改善策も記載すること。

当施設はいつ来場があっても対応出来るよう、開場中は管理人が24時間受付可能な体制で勤務しています。営業は10月一ヶ月を残すのみとなりましたが、これまでは天候にも恵まれて順調な利用状況が続きました。

自主事業のBBQまつりは当施設の主要事業の一つとして位置づけ、会議所を上げて取り組んでいます。個人（家族・友人）での参加はもとより、事業所のレクリエーションとしての参加も多く、今後団体に向けたアプローチを積極的に行って利用者の拡大に努めたい。

7. 市の所管課総合評価 ㊦市の評価をCとした項目についての指導内容も記載すること。

利用者アンケートで寄せられた意見を取り入れ、より快適に利用できるよう取り組んでいることが認められる。事業計画以上に利用されており、引き続き自主事業、広報活動等を通じて利用者数の増加を図っていただきたい。

自主事業の一つであるBBQまつりでは、毎年の開催時期から大きく変わったが、大勢の方に利用していただけた。このことを踏まえて、年二回の開催や、時期をずらしての開催など、今後検討して欲しい。施設の老朽化については、市での対応以外にも経費を抑えた修繕に取り組んでおり、継続して運営していただきたい。